

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社ゼンショーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <https://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ財務本部長 (氏名) 丹羽 清彦 (TEL) 03 (6833) 1600
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	178,398	16.9	2,661	△7.4	8,166	58.8	4,428	259.2
2022年3月期第1四半期	152,607	18.9	2,875	-	5,142	-	1,232	-

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 12,371百万円(717.7%) 2022年3月期第1四半期 1,516百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	29.11	-
2022年3月期第1四半期	8.10	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	443,377	114,989	25.6	747.51
2022年3月期	427,172	104,486	24.2	679.19

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 113,711百万円 2022年3月期 103,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	11.00	-	11.00	22.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	12.00	-	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	370,321	16.8	11,380	31.8	11,592	△11.3	6,942	7.9	45.63
通期	745,549	13.2	25,000	170.8	24,673	6.7	14,027	1.1	92.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	154,862,825株	2022年3月期	154,862,825株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,742,316株	2022年3月期	2,740,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	152,121,594株	2022年3月期1Q	152,125,239株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日)の連結業績は、売上高1,783億98百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益26億61百万円(同7.4%減)、経常利益81億66百万円(同58.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益44億28百万円(同259.2%増)となりました。

当社を取り巻く経営環境は、ウクライナ情勢等の地政学的リスクや供給制約に伴う、世界的なエネルギー価格や原材料の高騰が見られた一方、2022年3月末のまん延防止等重点措置の解除を受け、国内外食事業の売上高が回復傾向となりました。海外外食事業においても、6月に中国のロックダウンが解除されるなど、改善の兆しが見えてまいりました。

このような状況の中、「すき家」をはじめとする牛丼カテゴリーの既存店売上高前年比は107.1%、「ココス」、「ジョリーパスタ」をはじめとするレストランカテゴリーの既存店売上高前年比は130.5%、「はま寿司」をはじめとするファストフードカテゴリーの既存店売上高前年比は121.5%となりました。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、88店舗出店、64店舗退店した結果、10,101店舗(F C 4,529店舗含む)となりました。

セグメント別の概況につきましては、以下の通りであります。

① 外食事業

外食事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,591億96百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益は、33億41百万円(同17.7%増)となりました。

外食事業における主要カテゴリーの状況は、以下の通りであります。

(牛丼カテゴリー)

牛丼カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、577億8百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

牛丼チェーンの「すき家」は、「スパイシートマチ牛丼(並盛650円)」、「ニンニクの芽牛丼(並盛550円)」等の新商品や季節商品を積極的に導入いたしました。

丼ぶり・京風うどんの「なか卯」は、既存商品のブラッシュアップによる強化などを積極的に行っております。

当カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、17店舗出店、11店舗退店した結果、3,084店舗(F C 8店舗含む)となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、264億29百万円(前年同期比29.4%増)となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、フェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準の向上を図り、業績の向上に努めてまいりました。

パスタ専門店の「ジョリーパスタ」は、「おいしさと楽しさを追求するパスタ専門店」として、おいしい旬の食材を活かしたパスタの新商品投入や手作りピッツァ、サラダ、前菜などパスタ以外の商品拡充を行ってまいりました。

そのほか、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」や、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、和食レストランの「華屋与兵衛」、本格イタリア料理専門店の「オリーブの丘」等が当カテゴリーに含まれております。

当カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、5店舗出店、13店舗退店した結果、1,216店舗(F C 79店舗含む)となりました。

(ファストフードカテゴリー)

ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、438億3百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

100円寿司チェーンの「はま寿司」は、積極的なフェアメニューの導入や商品クオリティの強化と生産性の向上に努めてまいりました。

そのほか、武蔵野うどん・天ぷらを提供する「久兵衛屋」やマレーシアを中心に展開し、ハラル認証を取得したチキンライス専門店の「The Chicken Rice Shop」等が当カテゴリーに含まれております。

当カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、6店舗出店、3店舗退店した結果、971店舗(FC1店舗含む)となりました。

(その他カテゴリー)

その他カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、312億55百万円(前年同期比28.1%増)となりました。

Advanced Fresh Concepts Corp. は、米国・カナダ・オーストラリアで寿司のテイクアウト店を展開しております。そのほかの当カテゴリーの主要業態は、家庭用冷凍食品販売の株式会社トロナジャパン、グループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

当カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、60店舗出店、37店舗退店した結果、4,700店舗(FC4,441店舗含む)となりました。

② 小売事業

小売事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、192億1百万円(前年同期比2.4%減)、営業損失は、6億80百万円(前年同期は営業利益35百万円)となりました。売上高が計画対比で伸び悩んだことやエネルギーコストや配送費等の増加によるものです。

当事業の内訳は、スーパーマーケット事業を展開する株式会社ジョイマート及び青果販売等の株式会社ユニイテッドベジーズ等であります。

当事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、130店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は4,433億77百万円となり、前連結会計年度末から162億4百万円増加いたしました。これは主に、未収入金の回収による現金及び預金の増加、商品及び製品の増加、有形固定資産の増加等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は3,283億87百万円となり、前連結会計年度末から57億円増加いたしました。これは主に、有利子負債の増加等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,149億89百万円となり、前連結会計年度末から105億3百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,414	46,110
売掛金	24,460	24,044
商品及び製品	27,528	31,668
仕掛品	998	1,020
原材料及び貯蔵品	10,340	11,065
その他	26,865	26,080
貸倒引当金	△168	△177
流動資産合計	132,439	139,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	211,709	215,700
減価償却累計額	△126,051	△127,923
建物及び構築物（純額）	85,658	87,777
機械装置及び運搬具	16,078	17,072
減価償却累計額	△9,686	△10,113
機械装置及び運搬具（純額）	6,392	6,958
その他	154,180	160,790
減価償却累計額	△77,567	△81,611
その他（純額）	76,612	79,179
有形固定資産合計	168,663	173,915
無形固定資産		
商標権	45,569	50,435
のれん	13,106	12,881
その他	4,209	4,278
無形固定資産合計	62,885	67,595
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883	1,921
差入保証金	32,880	33,390
その他	28,372	26,663
貸倒引当金	△14	△15
投資その他の資産合計	63,121	61,959
固定資産合計	294,671	303,470
繰延資産	62	94
資産合計	427,172	443,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,986	26,961
短期借入金	459	3,770
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	24,380	19,089
未払法人税等	8,785	3,455
契約負債	643	721
引当金	2,951	1,410
その他	40,541	46,453
流動負債合計	109,749	106,864
固定負債		
社債	15,000	25,000
長期借入金	151,659	148,518
退職給付に係る負債	707	712
資産除去債務	4,286	4,327
その他	41,283	42,964
固定負債合計	212,937	221,523
負債合計	322,686	328,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,996	26,996
資本剰余金	24,823	24,824
利益剰余金	51,080	53,552
自己株式	△5,839	△5,843
株主資本合計	97,060	99,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72	△69
繰延ヘッジ損益	684	1,013
退職給付に係る調整累計額	18	20
為替換算調整勘定	5,629	13,218
その他の包括利益累計額合計	6,259	14,183
非支配株主持分	1,165	1,278
純資産合計	104,486	114,989
負債純資産合計	427,172	443,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	152,607	178,398
売上原価	70,444	84,846
売上総利益	82,162	93,551
販売費及び一般管理費	79,287	90,890
営業利益	2,875	2,661
営業外収益		
受取利息	95	75
受取配当金	1	1
為替差益	1	211
持分法による投資利益	7	8
補助金収入	2,848	5,940
その他	255	144
営業外収益合計	3,209	6,382
営業外費用		
支払利息	644	674
その他	298	202
営業外費用合計	942	877
経常利益	5,142	8,166
特別利益		
受取保険金	—	5
受取補償金	54	71
協力金収入	2,498	—
その他	63	40
特別利益合計	2,616	117
特別損失		
固定資産除却損	476	530
新型コロナウイルス対応による損失	4,162	—
その他	147	680
特別損失合計	4,785	1,210
税金等調整前四半期純利益	2,973	7,073
法人税、住民税及び事業税	1,392	1,924
法人税等調整額	347	722
法人税等合計	1,740	2,646
四半期純利益	1,232	4,426
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,232	4,428

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,232	4,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	2
繰延ヘッジ損益	△205	329
退職給付に係る調整額	2	1
為替換算調整勘定	488	7,575
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	35
その他の包括利益合計	283	7,944
四半期包括利益	1,516	12,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,507	12,325
非支配株主に係る四半期包括利益	8	46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外食事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	132,925	19,681	152,607	—	152,607
セグメント間の 内部売上高又は振替高 (注)3	614	19	633	△633	—
計	133,539	19,700	153,240	△633	152,607
セグメント利益	2,839	35	2,874	0	2,875

- (注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額(注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外食事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	159,196	19,201	178,398	—	178,398
セグメント間の 内部売上高又は振替高 (注) 3	848	117	966	△966	—
計	160,044	19,319	179,364	△966	178,398
セグメント利益又は損失(△)	3,341	△680	2,661	0	2,661

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。